

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	生涯学習課
課 名	社会教育課

預算	款	項	目	決算書	
	10	5	4	218	頁

目 名
文化財保護費

事務事業名称
歴史民俗資料館運営事業

1. 概要

目的	歴史民俗資料館を基本施設として、各支局と共に市民等へ文化財に接する機会や情報を提供し、文化財保護意識の高揚を図る。	対象	市民
事業概要	○ 歴史民俗資料館運営事業 ・文化財保護員による市内の指定文化財の状況調査(201件) ・職員による市内の指定文化財の状況調査及び古墳の除草作業(調査:16件 作業:5ヶ所) ・指定文化財の標柱(指定表示)設置(20件) ・歴史民俗資料の公開・展示・広報(歴史講座等:30回 常設展示:通年 市報広報:12回) ・歴史資料の収集(6件)		

臨／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	歴史民俗資料館運営事業	歴史民俗資料館運営	需用費	8,155	5,535			45	5,490	3
計				8,155	5,535	0	0	45	5,490	

2. 指標設定

成果目標	指標名	文化財の保護・歴史伝統文化の保全に対する市民の満足度		目標年度	H27	指標の設定理由						
	数値	34%以上				総合計画／後期基本計画において、基本施策(5-2-1)の目標としているため						
活動指標	指標	a	史料整理・公開数		b	所蔵資料の常設展示回数		c	調査研究の企画展示回数		d	
	数値	目標	—		目標	—		目標	1回以上		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
文化財の保護・歴史伝統文化の保全に対する市民の満足度	%	— %	34 %	— %
			100 %	

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 史料整理・公開数	件	8 件	10 件	
b 所蔵資料の常設展示回数	回	1 回	1 回	1 回
c 調査研究の企画展示回数	回			
d				

4. 課題と対応

課題
遺物・古文書・民具等の保管・展示が十分でない。
対応（改善点等）
所蔵品整理と共に、各資料館及び支局の資料展示室の有効活用を進める。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

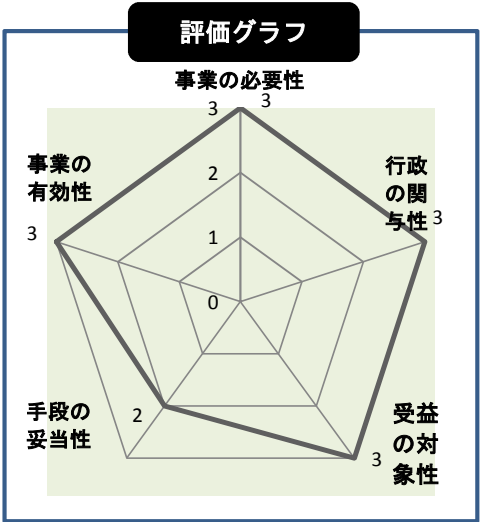
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		7,843	7,088	5,535	6,855
うち経常経費		7,456	7,088	5,263	6,855
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他		35	45	1
	一般財源	7,843	7,053	5,490	6,854
うち経常		7,456	7,053	5,263	6,854
事業費に係る人件費		7,680	7,664	10,320	8,158

6. H25年度予算の方向性

方向性
減額
理由
建設工事が終了するので減額となる。

7. 担当課による分析（部署内評価）

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	市民の文化意識の向上
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	行政の必須事項である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	利用者・対象者を制限していない
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2	現在のところ妥当と考えられる。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	文化財の認識向上の一助となっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	経費の削減を図りつつ、引き続き適正な運営を行うこと